

マナー啓発

安全・安心・快適にご利用いただくために、毎年マナー啓発ポスターを作製し、地下鉄車内や駅などで掲出します。



地下鉄駅ホーム冷房化の推進

地下鉄を快適にご利用いただくため、整備手法を検討し、順次駅ホームの冷房化を進めます。

市バス・地下鉄車両の更新

市バスは、平成28年度末にノンステップバスの割合が100%となり、令和4年度もアイドリングストップ付低公害ノンステップバスを46両購入します。

バスターミナルの環境改善

快適なバス待ち環境づくりのため、照明のLED化やベンチの設置、上屋の塗装替えなど実施します。



市バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大

市バスに不慣れな方にも安心してご利用いただくため、ピクトグラムを活用した乗換案内、4つ先までの停留所名を表示する経由案内など、わかりやすい案内が行える液晶式停留所名表示器を順次設置します。



マナカは乗車券と電子マネーが一枚になったカードです



マナカ

交通系 IC カードの全国相互利用
東京・大阪をはじめとした全国の主要な公共交通機関でもご利用いただけます。



敬老パスにチャージ（入金）いただくことで、コンビニ等での買い物のお支払いにご利用いただけます。オートチャージもご利用いただけます。

さらに便利に!

オートチャージもできる
地下鉄駅（上小田井、上飯田を除く）の自動改札機で残額が一定額以下の場合に、自動的にチャージされる大変便利なサービスです。

お買い物もマナカで便利に

レジなどに表示される金額を確認し、カード読取部にマナカをしっかりとタッチしてください。

自動販売機では、先に商品ボタンを押してからカード読取部にマナカをタッチしてください。

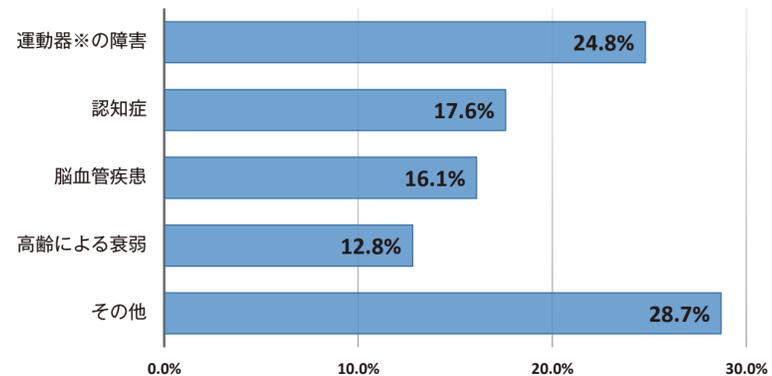
全国の交通系 IC カードが使えるお店等でもご利用いただけます。

敬老パスをご利用されるみなさまへ

敬老パスで健康寿命*を延ばそう!

*健康寿命…介護や寝たきりにならず日常生活を送れる期間。

◇要支援、要介護になった主な原因内訳



運動器とは、人が立つ、歩くなど広い意味での運動のために必要な身体の仕組み全体をいいます。

散歩や買い物等外出の機会の増などにより健康寿命を延ばすことができます。(厚生労働省 白書より)

⇒敬老パスで(市バス・地下鉄に乗って)出かけましょう!

身近な場所にお得に出かけよう!

- 市内の施設が、敬老優待カードでお得に入場できます。
例) 名古屋城 500円⇒100円 東山動植物園 500円⇒100円 などなど
「駅から始まるヒラメキさんぽ」歩いてみませんか?
交通局のウォーキングコースをお試しください。

⇒皆さまのご利用が市バス・地下鉄の大きな支えになります。
より一層のご利用をお願いします。

名古屋の市バス・地下鉄
発行：名古屋市交通局営業本部総務部広報広聴課
Tel 052-972-3809 Fax 052-972-3849
令和4年(2022年)2,000部

なごやの市バス・地下鉄



市バス

1日のお客さま 28万人

営業キロ：769km
系統数：163系統
停留所数：1,465停留所
車両数：1,014両
1日の走行距離：10万km

地下鉄

1日のお客さま 104万人

営業キロ：93km
路線数：6路線
駅数：87駅
車両数：782両
1日の走行距離：19万km

(注)令和4年3月末現在(1日のお客さま及び1日の走行距離は令和3年度決算(見込み))

名古屋市営交通事業経営計画2023

計画策定の趣旨
この計画は、経済状況や人口構造の変化などの社会経済情勢の動向をふまえつつ、今後想定される様々な課題に的確に対応しながら、より快適で便利な輸送サービスを提供していくため策定しました。

計画の理念
「新たなステージへ」
私たち名古屋市交通局は、安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指します。

計画期間
令和元(2019)年度から令和5(2023)年度までの5年間
長期的展望にたった収支計画は、令和10(2028)年度までの10年間とします。

- 重点施策
施策1：安全・安心の推進
施策2：快適・便利の向上
施策3：まちの活性化への貢献
施策4：安定した運営基盤の確立

QR codes for website, SNS, and social media.



安全・安心の推進

可動式ホーム柵の整備

東山線、名城線・名港線、桜通線、上飯田線の全駅に設置済。鶴舞線は令和8年9月開催の第20回アジア競技大会までに完成する目標で整備を進めます。



市バスドライブレコーダーの活用

走行中の車内・車外の映像や運行状況を記録し、事故防止やエコドライブに活用しています。



快適・便利の向上

地下鉄駅のリニューアル

明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅全体の壁・床・天井・照明などを、順次リニューアルします。



地下鉄駅トイレのリニューアル

訪日外国人、高齢者をはじめ、誰もが快適にご利用いただくため、駅構内トイレ全ての洋式化や温水洗浄便座などの整備を順次実施します。



ホームと車両の段差・隙間の解消

名城線・名港線では、車両床面とホームとの間に大きく段差が生じている駅があることから、車いす利用者をはじめ誰もが乗降しやすくなるため、ホームのかさ上げを行うほか、ホームと車両の隙間解消を行います。また、他の路線は、駅リニューアルの機会に段差と隙間の解消を行います。



地下鉄駅エレベーターの整備

地上へのエレベーターが1つしかない交差駅のうち、多くのお客さまが向かう方面にエレベーターがない伏見駅、御器所駅及び本山駅の地上用エレベーターの整備を進めています。また、アジア競技大会を見据え、令和4年度に新瑞橋駅の地上用エレベーターの整備に着手します。



まちの活性化への貢献

市営交通100周年記念事業

市営交通100周年を迎えるにあたり、お客さまに感謝を伝えるとともに、市営交通への理解と愛着をさらに深めていただくことを目的として記念事業を実施

- 主な内容
・メインイベントの開催及び各種行事の実施
・複製デザインを装飾したバス・地下鉄車両の運行
・オリジナルグッズの発売
・記念ドニエロキッパの発売
・市営交通百年史の発行



100年祭サイト



100年祭Twitter

安全・安心・快適にご乗車いただくために

マナーについて

エスカレーター

転落・衝突防止のため、エスカレーターは歩いたりせず、手すりにつかまり、2列にのらんでご利用ください。

職員によるお客さまへの安全な利用方法の直接的な呼びかけ等、事故防止を図る「エスカレーターマナー啓発運動」を実施しています。



リュックサックなどのお荷物

リュックサックやキャリーバッグなどの大きなカバンをご使用の際は、周りのお客さまを押しったり、足を引っかけて転倒させることのないよう、ご配慮ください。



ベビーカーの取扱いについて

市バス・地下鉄には、ベビーカーにお子さまを乗せたままご乗車いただけます。ベビーカーをご利用されるお客さまと周りのお客さまが、お互いに気持ちよくご乗車いただけるよう、ご理解とご協力をお願いします。



転落・接触事故防止について

線路内への転落事故や列車との接触事故を防止するため、歩きながらの携帯電話・スマートフォンのご使用はおやめください。また、地下鉄駅で目の不自由な方をお見かけしたときは、お声かけなどのご協力をお願いします。



地下鉄車内非常通報装置について

非常の場合は、各車両の扉付近に設置している車内非常通報装置の通報ボタンを押してください。ボタンを押すことで、係員が応答し、対応いたします。



市バスの緊急停止ボタンについて

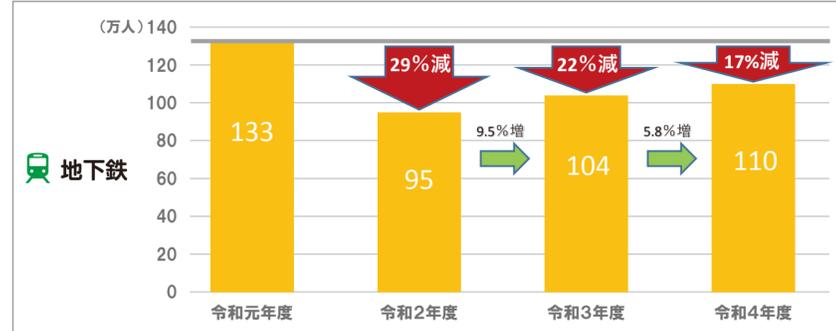
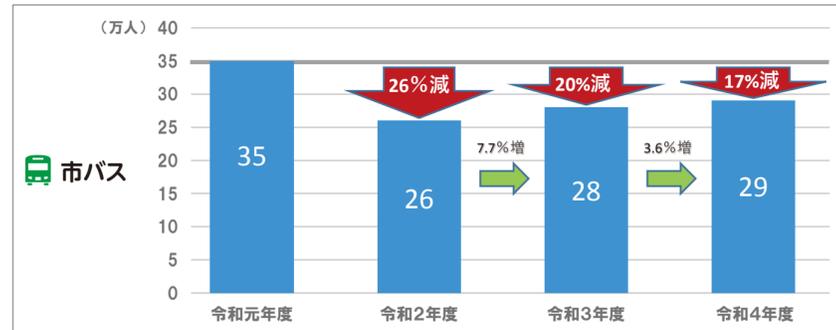
令和元年度から、ドライバー異常時対応システムを装備したバス車両を導入しています。運転中に異常が発生した際に、運転席後方に設置している非常ブレーキボタンを押すことで、バス車両を停止させることができます。



乗車人員の状況

令和4年度（予算）及び令和3年度（決算見込み）の市バス・地下鉄の乗車人員は、コロナ前の令和元年度と比べて2割程度減少しています。これは、緊急事態宣言の発出や不要不急の外出・移動に対する自粛要請の影響のほか、在宅勤務やオンライン授業の普及等の影響によるものと考えられ、令和2年度から同様の傾向が続いています。

1日あたり乗車人員(年間平均)



乗車人員の内訳

市バス (万人/日)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
定期外	10	7	8	8
定期	13	10	11	12
小計	23	17	19	20
敬老	9	7	7	7
福祉	3	2	2	2
小計	12	9	9	9
合計	35	26	28	29

地下鉄 (万人/日)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
定期外	48	30	35	38
定期	72	56	60	62
小計	120	86	95	100
敬老	10	7	7	7
福祉	3	2	2	3
小計	13	9	9	10
合計	133	95	104	110

市バス・地下鉄の経営状況

市バスの経営状況

(単位: 億円 税抜)

	R元	R2	R3	R4
経常収入	256	234	237	237
運輸収益	175	128	135	141
運輸雑収	39	39	39	34
一般会計補助金	41	65	61	60
その他	1	2	2	2
経常支出	244	242	246	257
人件費	131	130	132	134
経費	97	95	99	105
その他	16	17	15	18
経常収支	12	▲8	▲9	▲20

※R元～R2は決算額、R3は決算見込額、R4は予算額

- 乗車人員の減少に伴い運輸収益も大きく減少（令和4年度予算では、コロナ前の令和元年度と比較して▲34億円）
- 経費は、原油価格高騰に伴い自動車燃料費が増加。今後も社会経済情勢の変化に伴う経費の増加が懸念される
- 経常収支は、令和2年度決算では、平成17年度以来の赤字となり、以降3年連続で赤字が見込まれる大変厳しい状況

地下鉄の経営状況

(単位: 億円 税抜)

	R元	R2	R3	R4
経常収入	929	677	721	746
運輸収益	768	535	586	616
運輸雑収	67	60	59	63
一般会計補助金	54	44	39	31
その他	40	38	37	36
経常支出	778	764	755	762
人件費	263	265	262	266
経費	210	205	209	213
その他	305	294	284	283
経常収支	151	▲87	▲34	▲16

※R元～R2は決算額、R3は決算見込額、R4は予算額

- 乗車人員の減少に伴い運輸収益も大きく減少（令和4年度予算では、コロナ前の令和元年度と比較して▲152億円）
- 経費は、原油価格高騰に伴い地下鉄動力費が増加。今後も社会経済情勢の変化に伴う経費の増加が懸念される
- 経常収支は、令和2年度決算では、平成19年度以来の赤字となり、以降3年連続で赤字が見込まれる大変厳しい状況

新型コロナウイルス感染防止対策

交通局では、お客さまの安全・安心のため、感染予防対策に取り組んでいます。

●車両の抗ウイルス・抗菌加工

市バス・地下鉄全車両に抗ウイルス・抗菌加工を実施。



●消毒

駅および車両の日常清掃などにおいて、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用した消毒作業を実施。また、新型コロナウイルス感染症のり患者が利用したことが判明した場合も、同様の消毒作業を実施。



●車内換気

市バス・地下鉄では、全車両にて換気扇常時使用による換気を実施。また、一部の窓を開け走行。市バスでは、始発点でのドアを開けた車内換気を実施。



●職員の取り組み

市バス・地下鉄の運行にあたり、乗務員、駅務員等の職員はマスクを着用。また、営業所および駅などでは、手洗い、うがい等を実施。



●ビニールカーテンの設置

市バス運転席および地下鉄駅長室、改札窓口にてビニールカーテンを設置。